

1. 事業報告

福井大学アイデアプランコンテスト表彰式を実施しました

2018年10月23日(火)に『福井大学アイデアプランコンテスト表彰式』を実施しました。

本コンテストは、福井銀行、福井信用金庫、北陸銀行の協賛のもと、本学学生のアントレプレナーシップ(起業マインド)の養成を目的として実施しています。

7年目となる本年度は、福井大学の学生および職員から191件の応募があり、厳正なる審査の上、17名の入賞者を選出しました。

授賞式では、米沢晋本部長から「今年は、モノへのデザインが多かったので、それらデザインを技術と融合させ、次につなげていって欲しい」、また岡崎英一教授から「受賞された方のアイデアは伝え方が上手、また今後も日常で思い浮かんだ考えを形に出来るようになってほしい」と伝えられました。

なお、最優秀賞を受賞された田島拓実さんのアイデアプラン(蒸散作用をもった遮熱カーテン)は、テクノ愛2018の書類審査を通過し、11月23日(金・祝日)開催の最終審査テクノアイデアコンテストに臨みました。今回はおしくも上位入賞を逃しましたが、本経験を活かし今後飛躍されることを期待します。



(表彰式の様子)

2. 事業報告

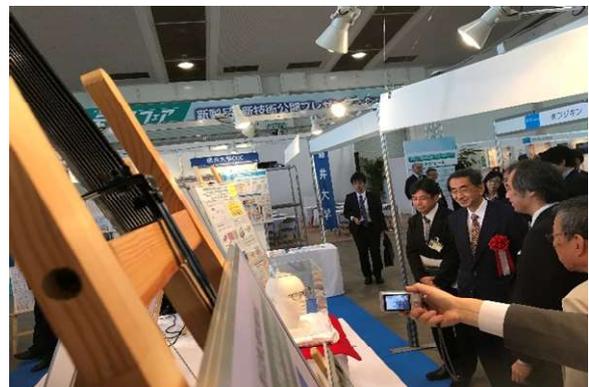
テクノフェア2018に出展しました

2018年10月25日(木)、26日(金)の2日間、福井県産業会館にて開催された『北陸技術交流テクノフェア2018』に、産学官連携本部が中心となり本学が出展しました。

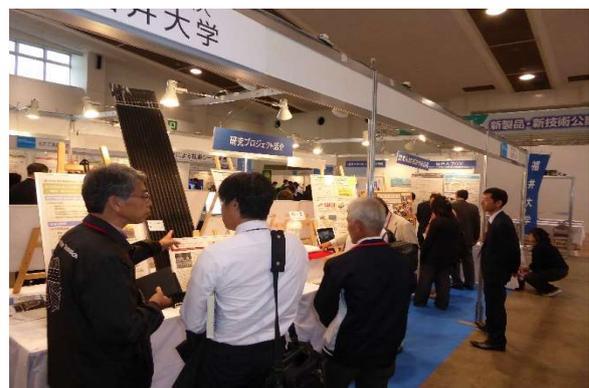
本ブースでは、エコシステム、産学官共同拠点オープンR&Dファシリティ、研究プロジェクト、学生によるMOTや起業化経営論の繊維を用いた試作品、URAやCOC事業の活動紹介、キャリア支援活動などの展示を行いました。

2日間通じ、企業、研究機関、大学、一般など、多くの来場者にお立ちよりいただきました。なお、前年に続き、本年度も初日には福井県知事西川一誠氏にご観覧いただきました。

今後も産学官連携本部は、社会や技術交流活動、それら発信を積極的に行っていきます。



(福井県知事のご観覧の様子)



(福井大学ブースの様子)

3. 活動報告

ドリームワークスタイルプロジェクトがはじまりました

2018年11月13日(火)、20日(火)2時限にて、共通教育科目の現代社会とキャリア・アントレプレナーシップ(担当:竹本拓治准教授)において『ドリームワークスタイルプロジェクト』がはじまりました。

本プロジェクトは、経済産業省主導で2011年度に開始され、2012年度より本学が独自で実施している、学生と地域産業界を結ぶ教育プロジェクトです。なお、昨年に引き続き本年度も、清水商店社、前田工織社、ガイア社、福井商工会議所、山内スプリング社、岩井社、ウララ社、幸伸食品社、清川メッキ社、エルコミュニティ団体にご協力いただいております。

まず13日と20日の2日に分け、講師を務めていただく方々にご来学いただき、受講生、メンターの顔合わせや質疑などが行われました。

今後は、企業や団体の魅力を探るために、現地訪問インタビュー調査の実施、それら内容を紹介するスライドをまとめ、1月上旬の予選で30チームから10チームを選抜し、1月下旬には本選プレゼンテーションを行う予定で進めます。



(インタビューの様子)

4. 活動報告

ERPsimセッションを行いました

2018年11月20日(水)5時限にて、実践道場科目「国際化戦略とオープンイノベーション(担当:竹本拓治准教授)」において、SAPジャパン株式会社の笹本力様、矢野康隆様、および関係団体

の皆様をお招きし、ビジネスゲームを通じたワークショップを行いました。

受講生は5つのグループに分かれて、各グループで社長、営業などと役割分担した上で、市場6000ユーロに対して3種類の飲料水を販売する経営シミュレーションを体感しました。なおゲームでは、1日が1分で経過するように設定される中、利益に関して競争を行っていきました。

受講生らは、ゲームを通じて迅速に人、物、金などを適切に分配して活用することや、意志決定の重要性を学びました。



(SAP ジャパン社矢野様によるご説明)



(経営シミュレーションを行う様子)

5. お知らせ

キャリア・アップ・セミナー

2018年12月14日(金)

1部 12:00~14:00 2部 15:00~17:00

【上記①、②の開催場所】

福井大学文京キャンパス総合研究棟 I 13階大会議室

(2018年12月1日発行)